



# SALVATIONIST

# とぎのこえ

2021年標語「主によって練られ、備えよう」(マラキ書3章3節)

二〇二一年九月十五日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)



初秋号

広報版  
2021

September-October  
No.2823

2021年 救世軍標語

# 「主によって練られ、備えよう」

聖書箇所：マラキ書3章3節

彼は精錬する者、銀を清める者として座し  
レビの子らを清め  
金や銀のように彼らの汚れを除く。  
彼らが主に献げ物を  
正しくささげる者となるためである。

と きの こ え SALVATIONIST

初秋号 広報版

2021 September – October  
NO.2823



## 『召されて兵士となる』、 『日々、使命に召される』出版！

兵士軍律『選ばれて兵士となる』の後継となる『召されて兵士となる』と、その副読本『日々、使命に召される』が出版され、7月1日に万国本営で記念イベントがありました。ブライアン・ペドル大将とロザリー・ペドル中將がイベント参加者にこの2冊を手渡しました。(関連記事6、10ページ)



@SAArmyJP



SAArmy\_JP



救世軍  
The Salvation Army

きりとり

- 『と きの こ え』購読を申し込みます。  
(1年分1140円。税込、送料別)
- キリスト教についてもっと知りたいです。

ご氏名 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

表紙の写真：帯広小隊は、改修工事中、商店街のフリースペースを借りて聖別会を開催。(関連記事9ページ)

### もくじ

- **メッセージ**  
人生という競技を生きる  
軍国女性部会長 大佐 ウェンディ・モーリス …… 3
- **〔連載〕聖潔の流れに立つ 第17回**  
ブレングルの生涯と聖潔  
中將 吉田 眞 …… 4
- **証言**  
吉田慎也候補生、坪川智兵士、  
樺澤美香兵士、小澤忍准兵士 …… 5
- **集会報告**  
創立記念コンサート及び  
士官候補生夏期訓練任命集会  
万国本営 新兵士軍律発行イベント …… 6
- 女性部ラリー …… 7
- **各地のニュース!!**  
前橋小隊 120周年記念集会  
京都小隊、長野分隊、仙台小隊 …… 8  
渋谷小隊、横浜小隊、遠軽小隊、  
月島小隊、帯広小隊、函館小隊 …… 9
- **YP (青少年部)・ファミリーニュース**  
全国青年デー、前橋小隊、福山小隊、  
万国本営イベント …… 10  
海外スタッフの帰国  
佐野保育園・佐野こどもクラブ
- **社会鍋による支援 岡山小隊** …… 11
- **克己週間報告**  
第五回救世軍社会鍋俳句コンテスト受賞  
作品 …… 12
- **〈連載・第11回〉**  
神の呼びかけ～神の民となるために～  
(4) 恵の座への呼びかけ  
(5) キリストの臨在を祝うことへの呼び  
かけ …… 13
- **救世軍見解表明**  
社会道徳に対する救世軍の立場  
第6回「現代奴隷制及び人身取引」(1) …… 14
- **救世軍公報／召天記事** …… 15
- **任官五年以内士官講習会、**  
遠軽小隊、集会案内 …… 16

# 人生という競技を生きる

軍国女性部会長 大佐 ウェンディ・モーリス



東京の「四万ドルお兄さん」……、いえ、「四百万円お兄さん」をご存知でしょうか？

滝島一統<sup>かずのり</sup>さんは、世界で最も多くのオリンピック競技を現地観戦した人となることを目標に掲げた、オリンピックのスーパーファンです。彼の計画は、現在百二十八のギネス世界記録を破ることでした。この夏の東京五輪のためには、家族や友人の協力を得て、四百万円を費やして、百九十七枚のチケットを購入しました。

彼がオリンピックに魅せられたのは、二〇〇六年トリノ大会でフィギュアスケートの荒川静香選手が金メダルを獲得したのを見たことがきっかけでした。その時以来、夏季・冬季大会のすべてに行き、チケットを要した競技の観戦数は百六回に及びます。今回の夏季大会では、十七日間で二十

八の競技を観戦する予定でしたので、合計百三十四回となり、世界記録を更新するはずでした。

しかし、新型コロナウイルス感染症により、大会は海外からの観戦は禁止。ついには日本のファンまでもが観戦禁止になってしまいました。滝島さんにはチケット代は返金されますが、そのショックは大きいものでした。この先、北京やパリで開催されるオリンピックにおいて夢は叶うでしょうが、自分の故郷である日本でその目標を達成したいと思っていたからです。

滝島さんの気持ちや思うとわたしも痛みます。この夏の大会を見ながら彼のことを思い浮かべていました。けれどもわたしは、滝島さんがなぜそこまでオリンピックが好きなのかという説明がすばらしいと思いました。彼はこう話しま

す。

「オリンピックに参加すると、たくさんのご褒美をいただけると思います。メダルを取れる選手と、努力がかなわず取れない選手がいる。彼らの涙は本物です。そんな姿を見ると、自分ももっと仕事をがんばろうとか、もっと人生を楽しもうと努力しようと思えるのです。」

賞を受けるのは一人だけです。あなたがたも賞を得るように走りなさい」とあります。必ず勝利が与えられるとは書かれていないことに気づかれます。

勝利には高度な努力と献身が必要なので、十分な準備をして、誠実に競い合わなければならない、と書かれています。

不正をしてまで何が何でも勝つということが大事なものではありません。重ねてきた練習の成果を、集中して競技にぶつけるという自己管理、そして自己最高のパフォーマンスをそこで発揮する、ということが重要なのです。常に勝つとは限りませんが、ベストを尽くすことができれば、失望や落胆の中にも勝利を感じることが出来ます。

さて、神様の言葉は、トレーニング中のアスリートについて多くのことを語っており、それはまさに訓練のさなかにあるクリスチャンに当てはまる言葉です。

「あなたがたは知らないのですか。競技場で走る者は皆走るけれども、

も、長い練習、長い準備期間の中では、努力すること、困難に耐えること、健康の維持、前向きな考えというものが必要になってきます。勝利は、主が再び来られるまでは手にできないかも知れませんが、その日までわたしたちを支えてくれるのは忍耐力です。

イザヤ書四〇章二九—三一節には、

「(主は) 疲れた者に力を与え、勢いを失っている者に大きな力を与えられる。若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが、主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない」とあります。

確かに、どんなスポーツ選手でも、疲れたり、力の衰えを感じたり、続けるよりもあきらめたほうが楽だと思ふ日があるでしょう。しかし、神様の言葉は明確です。



どうか神様を信頼し、滝島さんが学ばれたように、皆さんも豊かな人生を味わうことができますように。

## 連載 聖潔の流れに立つ 第十七回

### ブレングルの生涯と聖潔

中将 吉田 眞

(承前) 「もしこの地上に、聖潔きよめの経験をもった人がいるとすれば、この救世軍人たちは、まさにそのような人たちである。」

二人に誘われ、ブレングルも救世軍の集會に出席するようにになった。その頃彼が受けた救世軍人の印象について、次のように語っている。

「最初に救世軍に出合った時、二つのことに心惹ひかれた。一つは彼らの犠牲的精神であり、もう一つは、活力に満ちていたこと。……小隊長ゲイ少佐の説教は、火を噴くようであり、会衆に食い込んでいった。……これらの救世軍人は、わたしの知っている神学生たちとは大きく違っていた。ゲイ少佐のような人たちと比べると、彼らは軟弱で、力がなかった。」(『聖められた常識』サムエル・ローガン・ブレングルの生涯と教え) デビッド・ライトマイヤー著(日本語訳より)

これら「奇妙な人たち」の特徴は、聖潔の生活への献身であった。

そして、救世軍との関わりが深まっていった。救世軍人を寮に招き、食事を共にする。早天祈祷会や週日集會へ出席する。そして『ときのこえ』を購読し、友人たちへの配布を始めた。

そして、一八八五年六月、ブレングルにとって、人

生を変える事件が起こった。それは、ブースとの出会いである。その時の印象を「この人こそ、今の時代の、最も偉大な神の僕である。世の罪と恥と苦しみの重荷を負っている」と、述べている。

#### 大教会への招聘

この頃、ブレングルは大教会への招聘しょうごうを受ける。ブースとの出会いの後、ブレングルは、伝道の生涯に入るよう召されていることを示された。そうした頃、新しく建設されたサウス・ベンドのメソジスト教会への招聘を受けた。会衆は多く、財政的に豊かであった、招聘を受け入れることは、ブレングルの伝道者としての将来を約束するものであった。しかし、ブレングルは、「神が」将来を備えてくださるとの信仰をもって、この招聘を断った。

一八八五年夏、もう一つの、ブレングルにとって特別なことが起こる。それは、後にブレングルの夫人となるエリザベス・スイフトとの出会いであった。エリザベスの説教を聞いた二人の友人の勧めを受けて、彼女の話聞きに行った。

「あの時の彼女を、まるでさつき起こったことのように、今も思い出すことができる。乱暴者、娼婦、酔っ払い、……彼らに向かつて、彼女は、真理を語った。これまで聞いたことのないような説教であった。言葉は単純でありながら洗練され、聞く者の心に染み入るように、心を探るものであった」と、後に語っている。その後、彼女と話す機会があった。ブレングルはすっかり参ってしまったが、彼女にとって彼は、「親しい他人」でしかなかった。「わたしは、一目見て、彼女に心を奪われた。しかし、理性は残っていた。そこで、彼女に手紙を書くことにした。」こうして二人は文通を開始した。

ここで、エリザベス(リリー)・スイフトについて少し述べてみよう。

リリーのブレングルに与えた感化は、大きなものがあったのであるから、リリーについて、その与えた感化について見てみたい。

リリーは、一八四九年七月二十三日、ニューヨークに生まれた。改革派教会に育ったが、死と地獄の考えに悩み、予定説に疑問を抱き、信仰から離れた。一八八四年五月、妹のスージー、もう一人の友人と、一年の予定で、ヨーロッパ旅行に行った。スコットランドのグラスゴーで、貧しい地域を歩いている時に、「救世軍・聖別会午後八時」という看板を見た。リリーはあまり関心がなかったが、二人の同伴者は、興味をもち、それに出席。そのうちに、何度も救世軍の集會に出席するようになり、リリーも、(一体どんなところだろう)と、救世軍の集會に出席した。リリーは、そこで、人々の「神が自分の心を聖くしてください」という証しをたびたび聞くこととなった。そして、彼女は、ここに本当の宗教があると確信し、自分をキリストに明け渡した。

スコットランドからロンドンに移動した彼らは、すぐに万国本営を見つけて訪ねた。最初に訪問した時、ひとりの、上品な、知性のある青年パーシー・クリボンが彼女を迎えてくれた。彼は、伝道の情熱に燃えていた。「わたしがどのようにして救い主に出会ったかお話ししてもいいですか?」と聞かれ、彼の話を聞くことになった。彼は、どのようにしてキリストが、その愛によって、彼の誇りや不信心な心や冷やかな心を取り去り、彼を罪の中から引き上げ、キリストにある喜びと平安と力とを与えられたかを証した。それを聞いていたうちに、リリーのプライドも取り去られる経験をした。彼女は、万国本営の中の小さな祈祷室に入り、そこで自分を全くキリストに委ねた。救い主に出会ったのであった。リリーは、観光を中止し、救世軍についてもっと知ろうとした。救世軍のやっているやり方は、彼女の好みではなかった。しかし、実際にその方法で伝道することを通して、救世軍の姿勢の正しさを確信した。

(続く)



夏期訓練を前にして

(士官候補生夏期訓練任命集 会より)

候補生 吉田慎也

ハレルヤ！ 士官学校に入校して、これまでに多くの方々との出会いがありました。その恵みを証しします。救世軍の方々との出会いはもちろんのことですが、入校して最初の克己週間募金に行った先での出会いがたくさんありました。ポスティングに行った先で、庭仕事をされている方、ちょうど帰宅されたり、出かけようとしていた方々にもお会いしました。庭で植木の手入れをされていた方は、私を見かけると「ああ、救世軍さん」と声をかけてくださり、私はその時、ああ、救世軍の制服はすごい、と改めて感心しました。「いつも女性の方が来られるの

よ」と言いながら、大阪弁で話す私のことを不思議そうな顔でご覧になって、募金を始めたきつかけなどをお話くださいました。募金をしてくださる方の気持ちというものを初めて知ることができ、本当に良い学びになりました。

そしてこれは最近の気づきなのですが、私はクリスチャンになりたての頃は、一人でも多くの人にイエス様を伝えたいと心の中が燃えていました。その気持ちは今も変わりないと、先週の日曜日まで思っていました。でも先週の日曜日に、小隊士官から「地の塩」についてのメッセージで、塩から塩気がなくなると、何の役にも立たない。クリスチャンは塩である、と聞いた時に、はっとしました。そして、自問しました。「九年前に抱いたあの心が燃えるような思いは、今も変わらないのか？」と。もし変わらないのであれば、はっとすることはなかったのかなと思えました。神様はメッセージを通して、夏期訓練の前に私に、そういうことを伝えて気づかせてくださったのだとわかりました。これから夏期訓練でのたく

兵士入隊の証言

帯広小隊 坪川智

『復活』という映画を観ている時、イエス様が昇天するシーンで、入隊日はベントコステにしたらよいと、聖霊に示されました。実は聖霊が信仰への道を示してくれたのは、今回だけではなく、今回その時の光は聖



遠軽小隊の戦友と共に

さんの学び、出会いを通して、神様は私に塩気を増し加えてくださるものと信じています。夏期訓練に励んでまいります。皆様のお祈りで支えてくだされば幸いです。

(吉田慎也候補生は、六月二十四日〜八月十五日、遠軽小隊で夏期訓練を受けました。)

霊だったのだと確信できたので、証しいたします。

今から四十年前、高校生の時、帯広緑ヶ丘近くににある建設中の教会の牧師さんとお会い、英語を教えてくれると言うので、できたての教会に毎日のように通いました。幼い頃、両親に連れられてなんとなく日曜学校に通っていたので、抵抗はなかったのですが、聖書は単なる物語としか思っておらず、英語を教えてもらうのとピアノやオルガンも弾かせてもらえたので、それ目的で通っていたのです。

そんなある日、同級生の親友が亡くなりました。初めて心からお祈りした時、三つの色の球体の聖霊の光が、自宅を照らしていたのです。その光を僕は見ていませんが、妹二人が外で遊んでいて見ていました。

キリスト教への信心の道を聖霊は僕に示していかれたんだ、と今は思います。僕は都会に憧れ、違う道を選び四十年を無駄にしました。約束の地を目指した人たちと同じ四十年を無駄にしてしまったのです。しかし今、私は神である主を礼拝し、ただ主に仕える救世軍の兵士になります。

兵士入隊にあたって

横浜小隊 樺澤美香

私は子どもの頃、母に連れられて救世軍の日曜学校に通っていました。中学生になって部活が忙しく、教会から離れる生活になりました。その時期はいろいろなことがあって大変つらく、生きているのも苦しくなり、死にたいと思ったこともありました。

しかし、数年前に沖繩で生活することになった時に教会に導かれました。そこで、はっきりとした信仰を見いだし、クリスマスの日に洗礼を受けました。

昨年、沖繩を離れ、以前来たことのある横浜小隊に出席するようになりました。そして、二〇二一年五月二十三日、ペンテコステの日に、転籍して救世軍兵士になりました。

洗礼を受けた沖繩の教会の皆さんも喜んで応援くださいました。

大変つらい経験もしましたので、一層、信仰をもった今の毎日が本当に幸せです。神様のお恵みを感謝して、信仰の歩みを続けていきたいと思えます。

准兵士宣言をして

渋谷小隊 小澤忍

ハレルヤ！ 准兵士になったばかりの私に、この機会を与えていただき、感謝します。

救世軍には、子どもの頃以来、長い間、遠ざかっていました。そして、三年程前までのおよそ三十年間は、勤務先の転勤によって、滋賀県で生活していました。五十代の終わりに病気になる、一カ月半の間入院することになりました。退院後も体調はすぐにはもどらず、定年が近いこともあって、早期退職を前提に東京近辺に帰ることとしました。

帰ってきたことよって、入院している父に会いに行けるようになり、父が天に召されるまで、近くにいることができました。

コロナ禍の今、ふりかえって、コロナ禍になる前に東京近辺に帰ってきて、父を送ることができ、小隊につながることでできたもの、神様のお導きによるもの、と思うようになりました。

長い遠回りとなりましたが、今後もよろしくお願ひします。

# 集会 報告

## 創立記念コンサート及び士官候補生夏期訓練任命集会

6月13日(日) 午後4時30分、5時 ライブ配信

### 万国本営 新兵士軍律発行イベント

7月1日(日)

●救世軍創立156周年記念コンサート(事前収録を配信)  
ブース大將の「わたしは戦う」のスピーチに始まり、全世界の救世軍がパンデミックの襲う現代の社会でも仕え、祈り、戦うという動画が冒頭に流されました。コンサートの司会は士官学校教官勝篔実香大尉。ジャパン・スタッフ・バンド(JSB)の演奏と合唱、横浜小隊の浅野あゆみ兵士のピアノ演奏、帯広小隊士官樋口潔中尉、光世中尉によるワーシップの賛美がありました。また、第5回社会鍋俳句コンテストの受賞者が発表され、選者の唐澤南海子先生の講評が朗読で紹介されました(12



ページに掲載)。司会者が閉会祈禱をし、引き続き配信される夏期訓練任命集会の案内をしました。



### ●夏期訓練任命集会

会場の杉並小隊からライブで配信されました。司会は士官学校教官勝篔隆大尉。JSB アンサンブルによる演奏に導かれて『聖潔を映し出す者』の学年の吉田慎也候補生が軍旗を掲げて入場しました。書記長官西村保大佐

### ●新兵士軍律の発行

救世軍の兵士になろうとする人が必ず読むことになっているのが『選ばれて兵士となる 軍令及び軍律 兵士の巻』("Chosen to be a soldier, Orders & Regulations for Soldiers")です。この本を読み、理解をした上で「兵士の誓約」に署名をし、入隊式で公に信仰の宣言をすることによって、救世軍の兵士として受け入れられます。

このたび万国本営から、その本の後継となる新しい本『召されて兵士となる』("Called to be a soldier")と副読本『日々、使命に召される』("Day by day call to mission")が出版されました。『召されて兵士となる』は、救世軍万国教理委員会によって編纂され、大將の権威によって発行されるもので、「兵士の誓約」の各項目を解説するかたちで構成されています。また『日々、使命に召される』は長年、万国教理委員会の委員長を務めたロバート・ストリート中將によって執筆され、「イエスの召命」「より明瞭に理解し、準備する」「より真剣に愛し、戦う」「より近く歩み、責任を負う」



補は挨拶で、司令官スティーブン・モーリス大佐夫妻が早朝のアトランタから祈りつつ参加していることを伝えました。夏期訓練を前にした候補生の証言があり、杉並コースワーシップバンドが「その日全世界が」を賛美しました。続いて任命の時。司令官に代わり、書記長官が吉田候補生を夏期訓練のため、遠軽小隊に任命する辞令を授与しました。軍国女性部書記西村和江少佐が祈りを献げ、士官学校長ゲイル・ホワイト少佐がマタイによる福音書5章14～16節よりメッセージをしました。「私たちクリスチャンは、この世の暗闇の中でさまよっている人々に、光であるキリストを指し示す責任を託されている。小さな光でも暗闇を照らし出すことができる。候補生が夏期訓練に遣わされるこの時、私たちもイエスの光を映し出す者になりたい。イエスによる救いを伝えるために一人ひとり何ができるか考えていこう。」(動画視聴回数1,225回、7月30日現在)



「日々新たに」の5部構成となっています。

ブライアン・ペドル大將は「これらの本は、救世軍人の信仰が行動をどのように形づくるかについて理解する助けとなり、礼拝と祈りの重要性に心を向けさせます。皆様がこれらの本を学ぶことによって、救世軍の兵士が非常に重要な召しであるという確信をもたれることを願っています」と述べています。日本語訳は翻訳作業を経て近年の出版を目指します。

### ●出版記念イベント

これらの本の出版記念イベントがロンドンの万国本営で7月1日におこなわれ、万国本営のYouTubeチャンネル、Facebookでライブ中継されました。

このイベントでは、世界の救世軍人たちと共に帯広小隊士官・樋口潔中尉が、救世軍兵士として召された恵みの証しをしました。また、世界中の子どもたちから寄せられたお祝いの旗が披露され、日本からも3人の子どもたち(永尾晶仁さん<仙台小隊>、西村優基さん<杉並小隊>、三澤希実佳さん<福岡小隊>)が作った旗が飾られました(写真は10ページ)。大將は現代においてキリストの弟子として生きることの意義を語りました。

# 集会 報告

## 女性部ラリー

東京東海道連隊 5月12日(水)午前10時

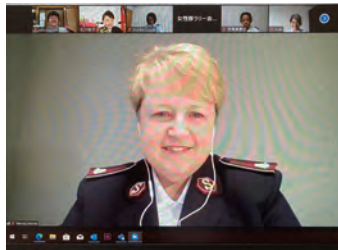
関東東北連隊 関東地区 5月18日(火)午後1時30分

東北地区 6月23日(水)午後1時30分、24日(木)午後1時30分

### ●東京東海道連隊

「新軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐の歓迎」を目的とし、渋谷小隊よりZoomにて配信でおこなわれました。

ゲストのウェンディ・モーリス大佐は、米国アトランタより参加されました。通訳は霊的生活成長部長中島美和大尉。ウェンディ大佐へのインタビューがあり、人柄に触れることができました。最後に「救い主に聖潔られる」(ヘブライ12:1~3)と題してウェンディ大佐がメッセージを語りました。今回は西日本連隊からも視聴参加者があり、共に祝福<sup>あすか</sup>に与りました。(参加者102人)



### ●関東東北連隊・関東地区

「主によって練られ、備えよう」のテーマのもとに、オンラインで開催しました。群馬県にまん延防止等重点措置が発出されていたため、桐生、前橋、高崎小隊からは小隊士官のみが参加し、熊谷及び佐野小隊からは戦友方も参加しました。米国や東京を含め合計11拠点をインターネットで結び、皆さんの元気な姿を見ることができました。

開会の救世軍歌を歌い、ウェンディ・モーリス大佐の挨拶とショートメッセージ(ヘブライ12:1~3)、各小隊の挨拶がありました。慣れないインターネットを用いて、短時間のプログラムでしたが、信仰と親睦を深め合う、恵みの時を過ごすことができました。当番の佐野小隊から、各小隊に事前にプレゼントが届けられ、恵みを共有することができました。集えなかった方々のためには、YouTubeの限定公開で集会の様子を共有しました。(参加者32人〈大人29人、子ども3人〉)

### ●関東東北連隊・東北地区

仙台小隊シャロームチャペルを会場に開催されました。関東東北連隊女性部書記藤井千明大佐補の司会により始められ、賛美と祈りを献げました。仙台小隊士官眞鍋恵中尉が、参加者と、オンライン参加の軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐と軍国女性部書記西村和江少佐を歓迎しました。続いて、東京より西村少佐が挨拶、ウェンディ大佐が動画でショートメッセージを語りました。針生茜さん(仙台)の家庭団入団式が、お花を用いておこなわれ、その後、テーマソングを歌いながら献金を献げ、八島嘉子兵士(仙台)が感謝祈禱を献げました。最後に、各参加者の紹介をし、仙台小隊シャロームチャペルの紹介をスライドショーでおこないました。(参加者15人、オンライン5人)

オプションとして、24日(木)午後1時30分からは、「お茶っこ」がおこなわれました。緊急事態宣言が解除されてから久しぶりの会に、近隣の皆さんも喜んで集われました。共に創立記念コンサートの配信を見る時をもちました。(参加者8人)

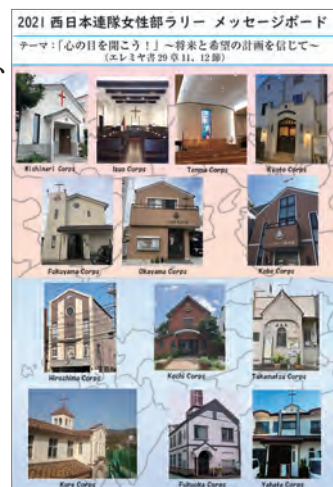


←仙台小隊に集まった東北地区女性部ラリーの参加者。オンラインで、ウェンディ大佐、西村和江少佐、そして、関東地区からも3人が参加しました

### ■西日本連隊

今年も、コロナ禍にあって、集まって交流することはできませんでしたが、昨年に引き続き、紙面を通して交わりの機会をもちたいとの声が上ががり、「2021西日本連隊女性部ラリーメッセージボード」を作成しました。

今年のテーマは、「心の目を開こう!」~将来と希望の計画を信じて~(エレミヤ29:11、12)でした。ウェンディ大佐からもメッセージが届き、紹介のページもあり、各小隊が、メンバーの声をそれぞれのページに、思い思いに編集し、個性あふれる小冊子が出来上がりました。長引くコロナ禍でいろいろな面<sup>あこが</sup>で、疲れやストレスを感じている中、励まされている御言葉や賛美歌、そして外へ向かっての行動から与えられた恵み、『はあもに』から受けた気づきなど、恵みの詰まった紙面になりました。これを読むことで、互いに励ましを受け、祈り合う交わりができ、感謝でした。



### ■北海道連隊

女性部ラリーは6月16日(水)に予定していましたが、北海道の緊急事態宣言を受け、延期となりました。9月以降を予定しています。

# NEWS!! NEWS!!

## 各地のニュース!!

### 前橋小隊 120周年記念集会

前橋小隊は6月3日で開戦120周年を迎えました。6月20日(日)、記念聖別会を、司令官スティーブン・モーリス大佐、軍国女性部会長ウェンディー・モーリス大佐、通訳に司令官秘書中島美和大尉をオンラインで招き、おこないました。

聖別会当日、小隊士官田口哲也少佐はノートパソコン(PC)のウェブカメラを礼拝堂の外に持ち出し、出陣者の目線に合わせて、その場所で登壇前のお祈りをしました。そしてPCを抱えたまま入場、登壇。出席した戦友方はミニ軍旗(エバ・パローズ大将来日時に使用したもの)を振って「ハレルヤ!」と歓迎し、オンラインを介して司令官夫妻を賑やかに迎え、開会しました。軍



国女性部会長が勧話、後藤弘吉曹長が証言をした後、司令官がフィリピの信徒への手紙3章12~14節より「前橋の明るい未来」と題して説教しました。アメリカとの時差を越え、祝福された集会をもちました。

コロナ禍のため、実際に来会できない人も多くいましたが、関わりのある方々がオンラインを通じて参加できたことは大きな恵みでした。前橋小隊はこれからも、戦友と共に、忠実に信仰を守り続けたいと願っています。

### 京都小隊

#### ●“京都を彩る建物や庭園”に選定される

京都市が実施している“京都を彩る建物や庭園”制度(平成23年11月創設)に、救世軍京都小隊の建物が選定されました。この制度は、京都市民が京都の財産として残したいと思う、京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園の維持・継承を図るものです。今年3月に発行されたリストには、「選定番号 第10-056号 救世軍京都小隊 昭和11年(1936)、ヴォーリズの設計により建てられたキリスト教施設。洗練されたゴシックの小さな教会堂は、木造でありながら、外観が石造のように見え、見事である」と掲載されています。

5月17日(月)、京都市文化市民局より中村氏、文化財保護技師の石川氏が来隊され、京都名産の北山杉で作られた選定証が授与されました。本営の倉持徹財産部長、西日本連隊長鈴木智博大尉夫妻が出席し、式の様子を京都小隊左隣のワンダス写真館館主の武田氏が撮影してくださいました。その後、次の段階である「認定」に向けての準備について質疑応答がなされました。



選定証を受け取る小隊士官栗原順中尉、由美子中尉

### 長野分隊

#### ● イースター音楽集会

4月17日(土)10時30分より、イースターに合わせて音楽集会をおこないました。長野市内コバ音楽教室の小林雄一さんが、「舟歌」「月光」「ラグリマ(涙)」3曲のギター演奏を披露してください、関東東北連隊長藤井健次大佐補が、「神の憐れみが悔い改めに導く」と題して説教しました。

コロナ禍の下、会食はできませんでしたが、参加者には、喫茶店「珈琲館・珈香」のサンドイッチとコーヒーに、イースターエッグとカードを添えた、スペシャルランチを持ち帰っていただきました。(参加者9人)



### 仙台小隊

● 家庭団入団式 6月23日(水)、女性部ラリーの席上、針生茜さんの家庭団入団式がおこなわれました。(写真左から5人目が針生さん)



感謝祭募金 9月15~30日



## 渋谷小隊

### ● 准兵士宣言

3月7日(日)の聖別会で、司令官ケネス・メイナー大佐の導きで小澤忍さんが准兵士宣言をしました。オンラインを通して聖別会に参加した戦友方にとっても大きな喜びでした。



## 横浜小隊

### ● 兵士入隊式

5月23日(日)のペンテコステ聖別会で樺澤美香さんが兵士入隊されました。皆様のお祈りを感謝します。



## 遠軽小隊

7月17日(土)に菅井カツエ姉の召天一周年記念会をおこないました。菅井家は遠軽小隊開戦当時から関わっている御家族です。遠軽小隊は吉田慎也候補生を夏期訓練に迎え、一同、恵まれた夏を過ごしました。(写真、関連記事は16ページに掲載)

## 月島小隊

5月3日(月)、小西政子兵士の告別式が小隊で、鈴木雅子少佐司式で執りおこなわれました。100歳の長い人生を信仰をもって走り抜いた姿を偲びました。小西兵士が99歳の時に書いた証言がプログラムと共に配られました。下に掲載いたします。(原文のまま)

私が救世軍に行きはじめたのは昭和10年頃、姉が救世軍に行っているのについて行ったのです。行きはじめはわからない事ばかりでした。昭和14年12月兵士(信者)になりました。親ははじめ反たいしていましたがだんだんとわかった様で小隊へ行くのをゆるしてくれました。日曜日ごと良く小隊へ行きました。戦争と云う大変な時でした。神様に祈ることにより平安が心の中にありました。戦争が過ぎ3人の子供を育てました。

昭和50年ころ長女が東京に嫁ぎました。家族が一人抜けてさみしくなりましたが、しかし長女が昭和61年3人の子供を残して神の元へ召天しました。私の心は大変でした。それよりもこの3人の子供の世話をどうするかと思ひ相談の結果、東京で子供たちと生活する事に決めました。

60歳になり子育てをすとはと思いましたが平和な日々を送らせてもらいました。孫達も増え皆で8人います。今99才になりますがすべて神の御導きと感謝しています。皆様より先に召されます。天国まで必ず召されると信じて。 令和2年6月22日 小西政子

## 帯広小隊

● 兵士入隊式 5月23日(日)、ペンテコステサンデーの聖別会で、坪川智准兵士の兵士入隊式をおこないました。ご両親の信仰を継承し、幼い頃に蒔かれた種が、神様の不思議な導きの内に実を結び、救世軍兵士入隊へと導かれました。緊急事態宣言が発令されている中でしたが、オンラインの生配信を通して多くの方が見守る中、祝福された時となりました。



### ● ライブハウスでの集会

小隊会館が築30年を経て補修が必要になり、改修工事をおこないましたが、その期間中、近所の商店街の一角をお借りして日曜の聖別会を守ることができました(表紙写真)。そこはライブハウスとしても使われるバーのようなフリースペースで、パブや劇場で礼拝を守っていた創立当初の救世軍のスピリットに触れるような経験を、戦友皆ですることができました。またその場所を管理している方も聖別会に出席され、ご自分のSNSでライブ配信してくださいました。不思議な形で地域に福音の種が蒔かれていることを感謝しています。

## 函館小隊

### ● 司令官キャンペーンオンライン集会



6月26日(土)の聖別会に、司令官スティーブン・モーリス大佐夫妻がオンラインで出陣しました。通訳の司令官秘書中島美和大尉、伝道事業部長山谷真少佐もオンラインで参加。連隊長加藤直子少佐が司会をし、函館小隊の吉越紀子書記が歓迎の言葉を述べ、司令官夫妻が挨拶。軍国女性部会長がイザヤ書43章19節の御言葉を読み、司令官は、「神の子のレシピ」(マタイ5・13~16)と題して御言葉を取り次ぎました。メッセージの中で司令官が函館の地について言及し、心を向けていることに戦友一同、喜びました。小隊で初めてのオンライン集会に、驚きと喜びがありました。(会衆13人〈内オンライン4人〉、恵の座4人)

**9月22日**  
救世軍日本開戦  
126周年記念日

# YP (青少年部) ・ ファミリーニュース

●全国青年デー 5月4日(火・祝)、5日(水・祝) オンライン (Zoom) 開催  
 テーマ「**献げる**」(マラキ書3章3節) 特別ゲスト **岡本依子師** (シドニー五輪テコンドー銅メダリスト、  
 ヴィジョン・ジャパン教会主任牧師)

1日目、セッション①「SAパーティー!!①」は、賛美やゲームをし、青少年部長朝澤義人大尉が「**献げる**」ことについてショートメッセージをしました。セッション②は、分かち合いのグループとリモートゲームのグループに分かれました。

2日目は、セッション③「聖別会に、どうして行くの?」から始まりました。各連隊青少年部書記から、自分もっていた小隊へのイメージの分かち合いがあり、その後、小グループで「聖別会ってどんなイメージ」かを話し合いました。「奉仕に時間をとられ、神様からの恵みを受けることが後回しになっている」、「同世代がいなくてつまらないと思っていたが、久しぶりに聖別会に参加した時、上の世代が陰で祈ってくれていたことを実感した」、「家が小隊だから出席が当たり前だった」、「小隊に行くことは楽しみ」、「いろいろな人の考えや思いを知り、励まされる」等の意見が出ました。また、中学生世代からは、「参加型のメッセージ(説教者と会衆がやり取りする形)をやってほしい」、「スポーツやゲームを取り入れた聖別会もやってほしい」等、聖別会に期待している思いを知ることができました。朝澤大尉は「神様に本当の思いを表していくのが聖別会。気取らず、神様に罪深い自分を赦していただき、救っていただくために、聖別会

に行こう」と呼びかけ、最後に小グループで祈りました。

セッション④は「SAパーティー!!②」。ゲストに岡本依子師をお迎えし、証言を聞きました。3回の五輪出場の経験、多くの方の励ましと熱い祈りがあって、イエス様を自分の救い主として信じたことを証しされました。その後、小グループごとに岡本師への質問を考え、質問タイムでは、食べ物の好き嫌い、好きな聖書箇所、スポーツミニストーリーと牧会を並行しておこなうことについて等、様々な話題が出ました。シドニー五輪の銅メダルを見せていただき、参加者は興味津々で見っていました。

今回の青年デーは、オンライン配信やゲームを東京の青年が考え、奉仕しました。また、参加者の年齢層が広くなりましたが、小グループは年代ごとに分かれ、様々な意見や証言を聞くことができました。コロナ禍が続きますが、今後もオンラインを用いながら、集まる機会をもっていきたいと思えます。

(参加者セッション①28人、セッション②分かち合い9人、ゲーム11人、セッション③26人、セッション④37人・青少年部報)



## 前橋小隊

●感謝と祝福の式 6月6日(日)の聖別会席上、小金澤誠助青少年部曹長・規子日曜学校教師のお孫さん(ひかりさん)の感謝と祝福の式を執りおこないました。



## 福山小隊

3月20日(土)サンビームに来ている子どもたちが「キッズゴスペル」のパズルに挑戦しました。夢中になって楽しい時間を過ごしました。(子ども3人)



## 万国本営イベント

イギリスの万国本営でおこなわれた新刊発行記念イベントの会場に、世界中の子どもたちの書いた祈りの旗が飾られました。日本からも3人の子どもたちが旗を作って届けました。(関連記事2、6ページ)



9月5日(日)  
小隊候補生サンデー

## 感謝と賛美のコンサート

2021年 9月5日(日) 午後7時～



出演 **RUAH WORSHIP**  
(ルア・ワーシップ)

ジャパン・スタッフ・バンド

救世軍公式 YouTube からライブ配信

ご視聴は無料です



## 海外スタッフの帰国

2018年7月から約3年の間、軍国青少年部と音楽部で奉仕した、ダニエル・ラボシエール軍国特務曹長とリエン・ラボシエール軍国特務曹長は、7月1日に離日しアメリカへ帰国しました。夫妻はアメリカ東部軍国

ニュージャージー連隊フレミントン小隊小隊運営担当の任を受けました(7月1日付)。新しい任命に神様の祝福をお祈りいたします。



## 佐野保育園、佐野こどもクラブ

●花の日 6月10日(木)には佐野こどもクラブより、11日(金)には佐野保育園より、普段からお世話になっている方々へ、感謝とお礼をお伝えしました。お菓子やクリスマスケーキを下さる玉の肌石齋株式会社の三木晴雄会長、保育園の給食とおやつを作ってくださるサントスランチサービスの皆さん、保育園の入り口のお花を手



三木会長

入れして下さる井上弘子さん他に、子どもたちが作ったペーパークラフトや、鉢花、また、Zoom や動画で、感謝の気持ちをお伝えしました。



サントスランチサービスの皆さん

### ☆しもべあの大冒険



毎週日曜日午前10時30分  
青少年部YouTubeで配信  
これからもお楽しみに!



## 社会鍋による支援

### 岡山小隊

#### ●生産者支援特別販売

第5回 4月26日(月)10時から15時におこないました。「首都圏に緊急事態宣言が出ると、岡山にもとたんに影響が出るんです」と、米農家さんとラーメン店のご苦勞を聞き、社会鍋資金で商品を買上げ、新米「にこまる」5キロと尾道ラーメン5食を1セットにし、千円で地域の方に販売しました。岡山での販売が2カ月ぶりだったため、地域の方は「本当に助かります」と待ちに待っていた様子で買いに来てくだ

しました。子育て世帯や商店街の経営者、高齢者施設で働く方々に案内し喜ばれました。(支援先2件、受益者70世帯、奉仕者7名)

第6回 6月23日(水)におこないました。朝から容赦なく照りつける暑さの中、米農家佐藤商店、野菜販売こうげつ堂、就労支援施設「ステップハウスわ!」から、米、淡路産玉ねぎ、倉敷産プラムトマト、米粉クッキー、アクリルたわしを購入し、1セットにして地域の方々に安価で提供しました。今回は、コロナの影響で全くイベント出店がなくなり、売り上げがなく困っていた就労支援施設に、大変喜ばれました。地域の方々もこの活動を応援して下さり、ひとり親世帯や知人に声をかけ、サイクル支援が広がっています。(支援先3件、受益者50世帯、奉仕者7人)



写真左より  
・5月の支援  
・6月 野菜購入  
先の方と  
・6月の支援

◆克己週間報告

2021年全国結果 10,723,222円

皆様のご協力を感謝いたします

●マラウイ軍国への支援レポート

2021年4月27日、マラウイ軍国の反児童人身取引センターにトヨタ・ランドクルーザーが納車されました。これは、日本軍国の2020年度克己週間募金の資金によるものです。昨年はコロナ禍にあって、車両購入に遅延が生じていましたが、今年になってようやく手配が整いました。まず、旧都ブランタイヤにあるマラウイ軍国の本営で、司令官アルフレッド・バンダ大佐による納車式がおこなわれた後、施設のあるムチンジへ届けられました。マラウイとザンビアの国境付近で横行している児童人身取引への対策として、道路の整備されていないところでの救出活動に大変有効であると喜ばれています。

コロナ禍による経済状態の悪化で、人身取引の事例も増えていますが、センターでは看護師をはじめとしたスタッフの新型コロナウイルス感染予防対策が取られ、救出した子どもたちを安全な環境で保護しています。子

もたちは、センター内で学年ごとの教育及び職業訓練やカウンセリングを受けます。昨年夏から現在（2021年8月1日現在）まで、10人の男児及び11人の女兒が保護され、そのうち5人の子どもたちが、受け入れ態勢の整った家族などのもとに帰ることができました。



←納車式の様子

↑職業訓練の畑



施設に車が届けました

第五回 救世軍社会鍋俳句コンテスト受賞作品

今回は全国から三百九十三作品の応募をいただきました。『ときのごえ』六月一日号で速報でお知らせしましたが、ここに改めて受賞作品を紹介し、講評を掲載いたします。おめでとうございます。

選者・唐澤 南海子氏（現代俳句協会会員、  
「岳」無鑑査同人、第27回俳壇賞 受賞、日本基督  
教団・信濃町教会員）

最優秀賞

くろがねの使ひ込んだる社会鍋

埼玉県 吉野 敬子

評 集金鍋、慈善鍋、社会鍋と名を変えながらも今日まで存在する、この鍋のすさまじさが「くろがね」の一語に集約されている。さらに「使ひ込んだる」と一歩踏み込み、この鉄鍋の姿をも詠う。堂々たる一句である。

優秀賞

慈善鍋硬貨一枚明日へ向く

秋田県 洞城 美乃里

評 この不安な現代社会に生きる私たちは明日の予測すらできない。しかし作者は常に前向き。たとえ一枚の硬貨であっても明日への希望を生み、生きる勇気を与えられる。「明日へ向く」の言葉の迫力に圧倒される。

寒灯に乱反射する鍋の中

岐阜県 大熊 梓遠

評 この句の季語は「寒灯」。寒は一年中で一番寒い時期。寒の灯りに照らし出された鍋の中の賜物は、踊り出すかのように光り出す。寒灯と乱反射の取り合わせにより、ダイナミックな一句となった。

社会福祉部長賞

木枯らしも吹くなら吹けと社会鍋

東京都 吉田 純志

評 地上に吹きたまった木の葉が乾いた金属性の音を立て吹き抜けていく。おーい！木枯らしー、もっと吹けよ…この重い鍋はびくともしないよ…。季語「木枯らし」により近代的な鋭さが出た一句である。

ほのぼの賞

旅人は小銭を入れし社会鍋

埼玉県 山本 純人

評 お！社会鍋だー旅人が気付く。生き生きとした臨場感がある。

社会鍋初任給での初参加

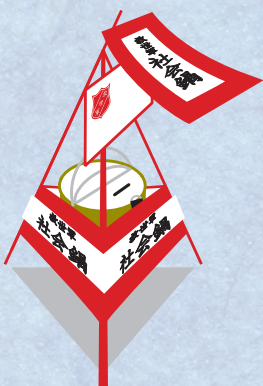
群馬県 角田 涼

評 すかっとした快活な作品。初、初のリズムが楽しく愉快である。

床に臥す母が気づかふ社会鍋

東京都 羽住 博之

評 病に臥した母の心の奥を詠った。息子にとってはいつまでも母の存在は大きい。



## 〈連載・第11回〉

## 神の呼びかけ ～神の民となるために～

## (4) 恵の座への呼びかけ

(承前) 質問

1. 恵の座は、今日のわたしたちにとってどんな意味があるでしょうか。
2. 恵の座を用いるべき理由を挙げてみましょう。
3. もし小隊として、恵の座の霊的恩恵を探り求めるなら、わたしたちの礼拝や神に対する応答にどのような変化が生まれてくるでしょうか。
4. 時々礼拝に来られる方たちは、わたしたちの共同体の中にある恵の座という場所をどのように理解しているでしょうか。何がその方たちの理解の助けになるでしょうか。

参考になる聖書箇所

出エジプト 25・20～22、コリント一 6・19、20、エフェソ 2・19～22、ヘブライ 10・19～25、29

## (5) キリストの臨在を祝うことへの呼びかけ

わたしたちは世界中の救世軍人に呼びかけます。すべての食事とすべての集会において、キリストの真の臨在を祝う自由が与えられていることを喜ぶようにと。そして、イエスとその友人たち、また初期のキリスト教徒たちが分かち合った簡素な食事の意義を、わたしたちもお互いの人生を共にする中で、探求する機会を得ていくように。

わたしたちは、主イエス・キリストが神の唯一の真の聖礼典であることを認めます。キリストの受肉、そして聖霊の内住という方法で、いつまでも、恵みをもって、神の民の内に臨在してくださるということは、わたしたちの信仰の核となる神秘です。家族や信仰の共同体が飲食を共にするとき、御自分の砕かれた体と注がれた血を思い出すようにという主の御命令を思い起こします。わたしたちの食事と愛餐の時間は永遠の祝祭を先取りするものであり、この地上におけるキリストの体における交わりに参加するものであることを、わたしたちは認めます。

『救世軍の儀式』第1章には、士官が救世軍の本質について思い起こすことができる記述があります。

「儀式に関連する言葉や行為の形式を定めることは、救世軍の伝統ではない。更に、国によってはその地方独特の多くの慣習があり、そのために、この小冊子に書かれている言葉遣いの変更が必要になる。それゆえ、……救世軍の主義や法的条件が守られる限り、式をつかさどる士官は、神を見上げる妨げとなったり、神の導きに依り頼むことを妨げるようなやり方で、そこに書かれている言葉遣いに従わねばならない、と感ずる必要はない。」

これに続く言葉として「しかし、そうだからと言って、救世軍人の本質的な強調点が失われるほどに変更してよい訳ではない」と書かれているのは、驚きではないでしょう。

万国委員会が聖礼典について最終的なまとめに着手した際、そこにはある前提がありました。神の恵みは、すべての人に対して、いつでも、どこでも、自由に与えられているものという点では、誰もが同意していました。また、内なる恵みを得るために、外面的なおこないをする必要はないという点でも一致していました。この信条は、救世軍の礼拝と実践の中心となっているものです。決して複雑なものではありません。神様との関係は、各人が個人的な交わりとしてもつものであることを示すものです。この明確かつ明瞭な信条から逸脱する可能性をばらむおこないを導入することがないよう、救世軍として熟慮することが必要です。

内なる恵みを受けるためには、聖餐式という聖礼典が高い位置（必須と言う教会もある）にあると一部のキリスト教徒が認識する際に、複雑な問題が生じます。聖餐式をおこなわない救世軍人は、霊的に「不完全」と指摘する人がいる場合、何が実際に問題となっているのかを慎重に、また正確に見極める必要があります。

すべての食事や集会の中で、キリストの真の臨在を祝うという呼びかけの根底には、キリストの臨在はいつでもどこでも、すべての人が味わうことができるものだという信仰があります。

イエス・キリストとの交わりをもち、御霊によって生まれたとき、その人の人生は変わります。その人の内に、神御自身が住んでくださいます。関係性が築かれるのです。(続く)

『はあもに』(Harmony) 第5号(9月発行)  
好評発売中です! ぜひお求めください!

現代に生きるすべての女性に励ましの言葉を贈る雑誌。  
年3回発行、A4判20ページ 200円(税込)

今回の特集は、母の生き方

子育て中のお父さん、お母さん必読!

- ・大嶋重徳牧師(鳩ヶ谷福音自由教会牧師)が語る「おかんがつかないだバトン～信仰継承10か条～」
- ・すてきなひとたち—京橋小隊 伊藤義路・明子夫妻

そのほか、バイブルメッセージ・祈りの部屋・暮らしのヒントなど

お求めは、各小隊、または本営女性部へ



## 救世軍見解表明

### 社会道德に対する救世軍の立場 第6回「現代奴隷制 及び人身取引」(1)

#### 現代奴隷制及び人身取引に ついての見解表明

救世軍は、現代奴隷制及び人身取引に対する闘いに深く関わっています。現代奴隷制及び人身取引は、性的人身売買、労働者や臓器の売買、搾取的労働契約、児童労働、早期及び強制的な結婚を含む包括的な用語です。それは、個人個人の問題だけでなく、社会的及び経済的システムを含みます。

救世軍は、すべての人には平等に尊厳が与えられており、また隣人を大切にすることを義務とするという聖書の原則を信じています。人間に対する搾取は、取引された人を商品化し、非人間化するとともに、人身取引業者の非人道性を利し、社会の道徳的、社会的、経済的構造を弱体化させます。救世軍は、現代奴隷制及び人身取引に内在する、他の人間に対する権力の乱用に反対しています。

現代奴隷制及び人身取引に対抗するには、需要と供給の両方に関わる必要があります。救世軍は、あらゆる関係者と協力して正義を達成することに尽力します。搾取され、トラウマを負う人の回復には、長く複雑なプロセスが必要となる可能性があります。被害者の尊厳の回復と、彼らが自分の生活における選択と管理を回復することが大切です。

現代奴隷制及び人身取引を止めなければなりません。個人としても組織としても、奴隷制及び人身取引にさらされた人々の解放のために共に行動する責任があります。奴隷制及び人身取引を阻止するための法的及び社会的仕組みを確立し、関係者に説明を求めなければなりません。

現代奴隷制及び人身取引に関わるすべての人の生き方の変革と、心と思考との癒しは、どちらも共に必要なものであり、可能なものです。

#### 見解表明の背景と状況

現代奴隷制及び人身取引には、取引される人々の需要を生む人々と、強制的な条件下で製造及び販売される商品の需要を生む人々が含まれます。また、人身取引業者と保護を委託された人々を含みます(政府、司法、法執行機関、銀行)。

現代奴隷制及び人身取引の形態は様々

です。包括的な定義を満たしていないものもよく見られます。

パレルモ議定書として知られる国連の声明は、人身取引を次のように定義しています。

「人身取引」とは、搾取の目的で、暴力その他の形態の強制力による脅迫若しくはその行使、誘拐、詐欺、欺もう、権力の濫用若しくはぜい弱な立場に乗ずること又は他の者を支配下に置く者の同意を得る目的で行われる金銭若しくは利益の授受の手段を用いて、人を獲得し、輸送し、引き渡し、蔵匿し、又は収受することをいう。搾取には、少なくとも、他の者を売春させて搾取することその他の形態の性的搾取、強制的な労働若しくは役務の提供、奴隷化若しくはこれに類する行為、隷属又は臓器の摘出を含める。

(注1：国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約を補足する人(特に女性及び児童)の取引を防止し、抑止し及び処罰するための議定書(略称 国際組織犯罪防止条約人身取引議定書)第3条(a)、[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/treaty/pdfs/treaty162\\_1a.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/treaty/pdfs/treaty162_1a.pdf))

(続く)

救世軍

BEYOND THE DARK

暗闇の向こうへ

2021年9月26日(日)

人身取引被害者のための世界祈禱日

#BeyondtheDark

ベトロー 2:9-10

66  
夜から 昼へ  
無から 有へ  
拒絶から 受容へ  
99

現代奴隷制及び人身取引によって苦しんでいる人びとは、全世界で4,000万人以上とされています。約2,500万人の人が強制労働に従事し、約1,500万人が、強制結婚の被害者となっています。(ILO 報告 2017年)

救世軍では、毎年9月に「人身取引被害者のための世界祈禱日」を設けて全世界の人びとと心を合わせて祈ってきました。また、2020年には、国際的なネットワークによって「現代奴隷制及び人身取引」と闘うための「行動計画」を立てて働きを進めています。

今年の世界祈禱日には、以下の点についてお祈りください。

#### ■祈りの柱

- 全世界の救世軍に連なる人びとが、この問題について深く学び、「現代奴隷制及び人身取引」と闘うことができるように
- 日本における被害者を守り、支援する働きがさらに広がっていくことができるように一救世軍の婦人保護施設や多くの支援団体の働きを覚えて
- 被害者が保護され、身体的、精神的、感情的、社会的、霊的な健康を取り戻すことができるように



救世軍人身取引対策室 Twitter  
<https://twitter.com/mshtjapan>



さまざまな関連情報を掲載しています。どうぞ御覧ください。



### 栞原花子少佐夫人 天に召さる

栞原花子少佐夫人は、6月30日午前9時50分、老衰のため、救世軍恵みの家より召天されました。102歳でした。

栞原花子少佐夫人は、1937(昭和12)年8月27日、渋谷小隊より『熱心家』の学年候補生として士官学校に入校しました。1939(昭和14)年6月26日、少尉に任ぜられ、天満小隊付の任命を受けました。翌年には中尉になり、西大連小隊付。1941年、キリスト教各派の統合がなされ、救世軍は、日本基督教団の第11部「救世団」となる。「士官」は「教師」、「小隊」は「教会」となり、栞原花子中尉も教師に。戦後、1946(昭和21)年9月22日に救世軍再建宣言がなされると、士官として復帰。目黒厚生寮、大阪女子希望館、1947年には大阪街頭生活女子ホーム(朝光寮)で奉仕、その間に大尉に昇任。1951(昭和26)年、新生寮付、1953年に栞原雅美中尉と結婚し、西成小隊に遣わされました。その後は、夫君と共に熊本小隊、大森小隊、朝光寮、女子青年館を転戦しました。1964年、25年永年勤続章、1973年に35年永年勤続章を授与されました。1979年、女子青年館主任となりますが、同年7月に引退されました。引退後も女子青年館で、同館が閉館するまで奉仕を継続されました。1984年6月より新生寮に遣わされ、同年9月には施設長となり、1995年6月6日に完全引退するまで、奉仕を全うされました。

告別式は家族葬として、7月3日、西宮幸治少佐の司式で、渋谷小隊でおこなわれました。

栞原少佐夫人は婦人保護事業に多年にわたり尽力され、売春を余儀なくされていた多くの困窮女性を自立更生の道に導く働きをされました。御遺族の上に神のお慰めをお祈りいたします。



### 増田安子小隊女性部書記 天に召さる

3月25日、静清小隊の増田安子小隊女性部書記(78歳)が召天されました。

長年、清水小隊・静清小隊の家庭団書記・女性部書記として、小隊女性部の中心となって奉仕されました。また、いつも、夫君・明彦さんと共に聖別会に出席しておられました。

2018年10月、緊急手術を受け、約2年半の闘病生活でした。コロナ禍の中、戦友はじめ、御家族もお見舞い・面会ができない日々が続いていました。御遺族の上に主のお慰めがございませう、お祈りします。(小隊報)



### 上坂喜久子柏寿会軍曹 天に召さる

天満小隊の上坂喜久子柏寿会軍曹は、2021年6月17日、心不全のため召天されました。

お子様たちが塚本分隊の土曜学校に出席されたのをきっかけに塚本分隊に導かれ、昭和37年天満小隊にて兵士入隊、その後、家庭団会計として、小隊を支え、1967年からは、柏寿会軍曹の任を受け、長年、兵士・下士官として小隊を支えてくださいました。5月14日には、99歳の誕生日を迎え、亡くなる当日まで、いつもどおり過ごされていました。いつも他者を覚え、仕え、祈り、キリスト者としての生涯を全うされました。

告別式は、6月21日、天満小隊士官鈴木真理子大尉の司式により執りおこなわれました。御遺族、関係者の皆様の上に神様のお慰めと御祝福をお祈りいたします。(小隊報)



### 箕輪定子少佐 天に召さる

箕輪定子少佐は、6月23日午後12時18分に、老衰のため救世軍ブース記念病院より召天されました。94歳でした。しばらく老人保健施設グレイスに入所しておられました。今年4月からはブース記念病院に入院されていました。

箕輪定子少佐は、1954(昭和29)年9月29日、上野小隊より士官学校『救霊者』の学年に入校し、1955(昭和30)年6月27日、少尉に任ぜられ、女子青年館付の任命を受けました。世光寮付、城東小隊長(『ときのコエ』公報では「東京内開戦小隊長」)、小樽小隊長、沼津小隊長、浜松小隊長、ブース記念病院会計、仙台小隊長、浪江小隊長(兼任)。その後、関東東北連隊長の任を受け、1980年、25年永年勤続章を授与されました。その後、清瀬病院事務長(本営直属)、東京連隊長の任を全うし、1988(昭和63)年5月11日に引退されました。引退後も、本営財務部付として、1988年6月1日から1991年3月29日まで奉仕を継続されました。

告別式は6月26日、浜松小隊士官太田晴久少佐の司式で、杉並小隊総合センターにておこなわれました。

箕輪少佐は、現実感覚と信仰のバランスを絶妙に取っておられ、人々を温かく迎え、惜しげもなく与え分かち合う方でした。少佐の魂の上に、御遺族の上に主のお慰めと平安を祈ります。(東京東海連隊報)

### 救世軍公報

- 任命(カッコ内は継続任命)
  - 補(兼)人身取引対策室長
  - (四月一日付) (軍国女性部会長・兼医療従事者交友会会長)
  - ウエンディ・モリス大佐
  - 補(兼)北海道連隊長補佐
  - (七月一日付) (遠軽小隊士官)
  - 眞鍋精一少佐
  - 補(兼)北海道連隊女性部書記
  - 補佐
  - (七月一日付) (遠軽小隊士官)
  - 眞鍋和枝少佐
  - 補桐生小隊士官補佐
  - (七月一日付)
  - 成演宇軍国特務曹長
  - (兼)施設統括責任者 男子社会奉仕センター・新光館の任を解く(五月三十一日付)
  - (兼)新光館施設長
  - (兼)新光館施設長

- 青少年部付(兼)音楽部付の任を解く 米国東部軍団(帰国後新任命を受ける(六月二十日付))
- ダニエル・ラボシエール及びリエン・ラボシエール軍国特務曹長
- 新施設長・新病院長
- 男子社会奉仕センター施設長 岡田進
- ブース記念病院病院長 齊藤博彦
- 二〇二一年六月一日付
- 召天
- 箕輪定子少佐(上野小隊出身)は、二〇二一年六月二十三日、召天。
- 栞原花子少佐夫人(渋谷小隊出身)は、二〇二一年六月三十日、召天。
- 司令官
- ステイブ・モリス



### 森山とし恵名誉家庭団書記 天に召さる

八幡小隊の森山とし恵名誉家庭団書記は、2021年6月30日に老衰のため95歳で召天されました。

戦後まもなく、八幡小隊に導かれ、昭和25年5月に夫君節治さん(名誉曹長、2001年召天)と共に兵士入隊し、夫婦・家族で小隊の集まりに出席する模範的な存在でした。

1979年に家庭団会計、1992年からは家庭団書記として、豊かな賜物を活かして長年にわたり奉仕し、体が不自由になり施設に入るまでその業を続けられました。ユーモアのセンスをもち、誰に対しても気配りをされ、よく信仰の友を訪問し、励ましておられました。

告別式は、家族葬として7月3日、八幡小隊士官樋口和光少佐の司式によりおこなわれました。御遺族の上に神様のお慰めとご導きをお祈りいたします。(小隊報)

創立者 ウィリアム・ブリス 大將 ブライアン・ペドル(万国本営 英国 ロンドン)

日本司令官 スティーブン・モーリス(救世軍本営

東京都千代田区) <https://www.salvationarmy.or.jp>



### 任官五年以内士官講習会

7月6日(火)～8日(木)、コロナ禍の中、昨年同様オンラインで開催されました。士官学校を会場に、TeamsとZoomを駆使しておこなわれ、7人の受講生はそれぞれの任地から参加しました。開会集会には米国アトランタから司令官スティーブン・モーリス大佐、軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐が出席し、8つの講演、証し会、閉会集会、3日間の講習会を恵みのうちに終わりました。来年の講習会は対面で開催されることを一同で願い、散会しました。



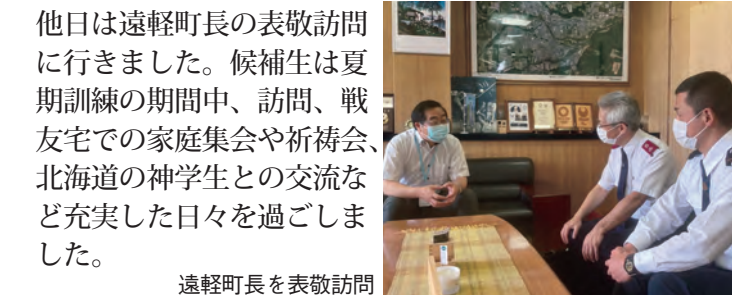
榊原家家族集会



菅井カツエ姉記念会 (記事は9ページ)

### ● 遠軽小隊 候補生を夏期訓練に迎えて


7月10日(土)小隊士官眞鍋精一少佐と吉田候補生は釧路伝道キャンペーンとして、月に一度担当している釧路分隊集会に続き、直別の榊原家で家庭集会をし、恵まれた時をもちました。榊原家は長年帯広小隊と良きつながりを持ち、家の教会としての働きを続けています。



遠軽町長を表敬訪問

他日は遠軽町長の表敬訪問に行きました。候補生は夏期訓練の期間中、訪問、戦友宅での家庭集会や祈祷会、北海道の神学生との交流など充実した日々を過ごしました。


**士官志願者サンデー10月3日(日)**  
**士官志願者祈祷週間 10月3日～24日(日)**  
 テーマ「互いに祈り合う」  
 (フィリピ1:3～6)



今年の祈りの計画については後日、士官志願者部よりお知らせがあります。

**召天者合同記念会 10月9日(土)**  
**オンライン配信**  
 昨年と同様、多磨霊園救世軍墓地にて事前収録した集会の様態を配信予定です。

**女性部サンデー 10月17日(日)**



**救世軍 女性の働き**

聖別会の中で、一円献金の献納式をおこないます。今年の支援先はインドネシアです。

インドネシアの女性の能力向上のために

- マイクロクレジット・プロジェクト  
 家族の生活や子どもの学費のために働く女性に、少額の融資をすることによって、起業や事業継続の支援をします。
- 女性のための開発セミナー、ワークショップの開催  
 将来に向けた良い備えができるように女性の能力開発を助けます。

発行日及び定価  
 ▼発行日 福音版・毎月一日発行  
 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

▼定価(税込)  
 福音版・一部 四〇〇円  
 広報版・一部 一〇〇円  
 クリスマス特集号(十二月一日号) 一部 一〇〇円  
 振替・〇〇一八〇五四四〇〇

発行兼 救世軍  
 印刷人 代表スティーブン・モーリス  
 編集人 山谷 真  
 〒101-0051 東京都千代田区  
 神田神保町二ノ十七  
 電話 東京(03)三三三七〇八八  
 発行所 救世軍本営  
 印刷所 株式会社ビーアンドエス

(取扱支部)